

公益財団法人放射線影響研究所

第16回評議員会

概要報告

公益財団法人放射線影響研究所 第16回評議員会が、2026年6月17日と18日の両日、長崎研究所において開催された。主な議題と討議結果は次のとおり。

1. 事業報告、決算

2025年度の事業実行状況について、事業報告（国際協力活動、海外との共同事業等を含む）、決算報告、監査報告および付属書類により報告され、異議なく承認された。

2. 事業計画、予算および関連事項

被爆者の健康に関する調査研究事業、被爆者の子どもの健康に関する調査研究事業、原子爆弾の個人別線量とその影響を明らかにするための調査研究事業、研究成果の公表と他機関との研究協力事業、国内外の専門家を対象とする研修事業、一般向け啓発事業などの2026年度事業計画およびこれらを実施するための実行予算について報告された。

3. 科学諮問委員会の勧告および勧告への対応

2026年3月4日から6日にかけて第53回科学諮問委員会が開催された。今年は、血液腫瘍およびその発生過程、トリオゲノム研究、研究資源センター（RRC）について部門横断的な検討が行われた。血液腫瘍に関する研究については、放射線被ばくと血液異常の関連解明を通じて、血液腫瘍発症の生物学的機序に関する新たな知見をもたらすものとして評価された。トリオゲノム研究については、約10年にわたり計画されてきた研究が進展し順調に開始されたことが確認され、高い同意取得率や新たな手法の導入により研究が進展している点が評価された。また、研究資源センター

（RRC）設立については、これまでに収集された疫学データ、臨床データ、生体試料等の貴重な研究資源の整理・一元化に向けて進められていることが評価された。これらを踏まえ、委員会からの勧告およびそれに対する放影研の対応について報告と協議が行われた。

4. 放影研戦略計画および広島研究所の移転

放影研に課せられたミッションを達成するための戦略計画とそれを実施するための取り組みについて、広島大学霞キャンパスへの移転の進捗状況とともに説明し、それに対する討議が行われた。

5. 評議員、科学諮問委員等の選任

今評議員会の終結時に任期満了となる評議員、科学諮問委員の選任が行われた。任期はいずれも別紙（ ）内に示された年の定時評議員会の終結までとなる。

評議員の選任

Appointment of Councilors

任期は（ ）年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in
（ ） year.

<p>伴 信彦 (2031) 原子力規制委員会 参事 Dr. Nobuhiko Ban (2031) Advisor Nuclear Regulation Authority</p>	<p>Dr. Gayle E. Woloschak (2031) 米国ノースウェスタン大学ファインバーグ 医学研究科 放射線腫瘍学部 教授 Professor, Departments of Radiation Oncology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University</p>
<p>小林 正夫 (2027) 日本赤十字社中四国ブロック血液センター相 談役 Dr. Masao Kobayashi (2027) Consultant, Japanese Red Cross Chugoku- Shikoku Block Blood Center</p>	<p>Dr. Keith R. Yamamoto (2028) 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ 校 名誉教授、科学政策・戦略担当副総長 特別顧問、研究担当副総長、細胞・分子薬 理学名誉教授 Special Advisor to the Chancellor, Science Policy & Strategy, Vice Chancellor for Research, Emeritus Professor, Emeritus of Cellular & Molecular Pharmacology, UCSF</p>
<p>佐野 利男 (2029) 前原子力委員会委員・元軍縮会議日本政府代 表部大使 Mr. Toshio Sano (2029) Former Commissioner of Japan Atomic Energy Commission and Former Ambassador, Permanent Representative of Japan to the Conference on Disarmament</p>	<p>Dr. Angela Bies (2029) 米国メリーランド大学公共政策学部 世界的慈善および非営利事業リーダーシ ップ寄付講座 准教授 Endowed Associate Professor of Global Philanthropy and Nonprofit Leadership, School of Public Policy, University of Maryland</p>
<p>早野 龍五 (2030) 東京大学名誉教授 Dr. Ryugo Hayano (2030) Emeritus Professor, The University of Tokyo</p>	<p>Dr. Jonathan M. Samet (2030) 米国コロラド公衆衛生大学院 教授、 前大学院長 Professor and former Dean, Colorado School of Public Health</p>

科学諮問委員の選任

Appointment of Scientific Advisors

任期は（ ）年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in
() year.

<p>鈴木 元 (2031) 医療法人保内郷厚生会 保内郷メディカルクリニック 院長 Dr. Gen Suzuki (2031) Director, Honaigo Medical Clinic, Honaigo Koseikai Medical Corporation</p>	<p>Dr. John S. Witte (2031) 米国スタンフォード大学医学部スタンフォードがん研究所 集団科学プログラム共同リーダー 疫学・公衆衛生学部 副部長 疫学・公衆衛生学部、生物医学データサイエンス学部および遺伝学部 教授 Professor, Departments of Epidemiology & Population Health, Biomedical Data Science, and Genetics Vice Chair, Department of Epidemiology & Population Health Co-Leader, Populations Sciences Program, Stanford, Cancer Institute School of Medicine Stanford University</p>
<p>島田 義也 (2027) 公益財団法人 環境科学技術研究所 理事長 Dr. Yoshiya Shimada (2027) President, Institute for Environmental Sciences</p>	<p>Dr. Gayle E. Woloschak (2027) 米国ノースウェスタン大学ファインバーグ医学研究科 放射線腫瘍学部 教授 Professor, Departments of Radiation Oncology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University</p>
<p>今岡 達彦 (2028) 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 放射線影響予防研究部 部長 Dr. Tatsuhiko Imaoka (2028) Director, Department of Radiation Effects Research Institute for Radiological Science, National Institutes for Quantum Science and Technology</p>	<p>Dr. Patrick Concannon (2028) 米国フロリダ大学医学部 病理学・免疫学・臨床検査医学科 名誉教授 Professor Emeritus, Department of Pathology, Immunology and Laboratory Medicine, College of Medicine, University of Florida</p>

<p>松田 文彦 (2029) 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター長</p> <p>Dr. Fumihiko Matsuda (2029) Director, Center for Genomic Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine</p>	<p>Dr. Melissa Haendel (2029) ノースカロライナ大学チャペルヒル校 精密医療トランスレーショナルインフォマティクス学部長 Director of Precision Health & Translational Informatics, University of North Carolina</p>
<p>山本 精一郎 (2030) 静岡社会健康医学大学院大学 教授 国立研究開発法人国立がん研究センター 特任研究員</p> <p>Dr. Seiichiro Yamamoto (2030) Professor, Shizuoka Graduate University of Public Health and Specially Appointed Researcher, National Cancer Center, Japan</p>	<p>Dr. Garcia-Closas, Montserrat (2030) ロンドン大学がん研究所 疫学教授 兼 グループリーダー Professor of Epidemiology and Group Leader, Institute of Cancer Research (ICR)</p>